

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

| | |
|---------|------------|
| 事業所番号 | 3890100104 |
| 法人名 | 社会福祉法人ともの家 |
| 事業所名 | アンジュールともの家 |
| 所在地 | 松山市溝辺町甲9 4 |
| 自己評価作成日 | 平成26年1月10日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS |
| 所在地 | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成26年1月28日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

職員ハンドブックを振り返り、基本に忠実なケアをすることに力を入れている。具体的にはひとり一人のリハビリテーションを大切に、身体機能の低下を防ぐ 職員間の報告、連絡、相談の徹底 環境整備で特に感染症予防のためにも換気と清潔 以上の3点をあげている。職員の意識化のためにもチェック表を作っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

毎月、利用者の暮らしぶりや担当職員の変更等も手紙で伝え、季刊の法人発行の「ともの家だより」では、事業報告や各事業所の取り組み、研修報告等を報告されている。日常的に来訪するご家族が多く、調査訪問時来訪したご家族に、管理者が利用者がピアノを弾いてくれることがあることを伝えると、「手芸や裁縫は得意だったけれど、ピアノが弾けるとは」と少し驚いておられる様子だった。連絡ノートで詳細に情報を交換しているご家族があり、ノートの表紙には「職員さんへ いつも暖かくサポートして下さりありがとうございます」と記されていた。ご家族が世話役となって運営されている法人合同の家族会で出された意見等は、施設長が各事業所に伝えるようになっている。毎月の掃除日には、ご家族が参加されており、昨年末の大掃除には、すべてのご家族の協力を得られた。クリスマスには、利用者のお孫さんがコンサートを催して下さり、みなで楽しい時間を過ごされた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当する項目に印 |
|----|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25) | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38) | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38) | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31) | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28) | | |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
“ 愛媛県地域密着型サービス評価 ”

事業所名 アンジュールともの家

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

菅原佐代子

評価完了日

26年 1月 10日

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-----------------|------|---|--|-------------------------------|
| 理念に基づく運営 | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | (自己評価) 運営理念に「公開、透明、参加、協同」基本方針に「家族はケアパートナー」と掲げている。25年度の重点目標にも「家族や地域との連携を強くする」を立てている。地域とのつながりを広げていくために、地域交流委員会を中心にバザーロビー展を年に4回実施している。 | |
| | | | (外部評価) 法人の運営理念に基づいて、今年度の重点目標に「個別ケアの充実」「職員の意識の向上に務める」「環境衛生に力を入れる」「家族や地域との連携を強くする」の4項目を掲げ、管理者と職員は、実践に向けて取り組んでおられる。 | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | (自己評価) 自治会に加入しており、地域の方にバザー、ロビー展の出品をしてもらったり、バザーや喫茶コーナーも利用者と共に楽しんでもらっている。近所のお店に利用者と職員が出かけ、買い物がてら雑談をしている。利用者の方が外に出て行かれた時なども知らせに来てくださったりして助けられている。 | |
| | | | (外部評価) 法人合同で年に4回開催している恒例のバザーロビー展は、回を重ねて29回となり、地域との交流を深めておられる。近所の農家の方が販売される新鮮な野菜や果物、事業所手作りのおはぎやお寿司、喫茶コーナー等、近隣の方やご家族等は毎回楽しみにされている。ロビー展には、利用者の書初めや短歌、地域の小学生の作品等を展示されている。又、昨年9月から、資源ごみの回収に取り組みられ、ご家族や近所のスーパー等にも働きかけて、協力していただいている。地域の中学生の体験学習等も受け入れておられる。管理者は、さらに「地域のお年寄りの寄り合いの場になって、気軽にお茶を飲みに来てもらえるような事業所にしたい」と考えておられた。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | (自己評価) キャラバンメイトの講習を受けた当法人の看護師による認知症サポーター養成講座を開催して、地域の方や家族の方に受講していただいた。職員による実践研究発表会を開き、地域包括支援センターや近隣の事業所などに案内している。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 評価への取り組み状況等について報告や話し 合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活 かしている | (自己評価) 年間に6回、運営推進会議を開催して、内4回は同敷地内の事業 所との合同開催で、2回は単独で開催している。利用者やサービ スの実際を報告している。地区の町内会長、広報委員、民生委員の 方なども参加していただき、事業所内部を見てもらって、ホームを身 近に感じてもらっている。 | |
| | | | (外部評価) 会議では、事業所から活動や取組み、利用者の現状等を報告し て、情報や意見交換を行っておられる。ここ1年、ご家族の参加が 少なめとなっており、管理者は、今後さらにご家族の参加をすす めたいと考えておられた。あるご家族が介護記録を「日記」と表 現されたことを受け、市の担当者から「記録のことを「日記」と表現 されたことが印象に残りました。行政的な目線で記録を見ていて、日 記という見方はしたことはありませんでした」という感想をいただ いた。昨年の12月の会議では、法人の看護師が講師となって「認知 症サポーター養成講座」を開き、地域の方やご家族等、多数の参 加があり、好評だったようだ。次回の会議では、避難訓練を合わ せて実施する予定となっている。 | |
| 5 | 4 | 市町村との連携 市町村担当者とは頃頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでい る | (自己評価) 運営推進会議には毎回参加していただき、情報交換などを して協力関係を築いている。ケアサービスの取組みなどを パワーポイントで見てもらって、わかりやすいと言ってもらっ ている。 | |
| | | | (外部評価) 毎年行われている法人主催の職員の実践研究発表会の際 には、地域包括支援センター等にも参加を呼びかけておら れ、出席された担当者から「今年度もどうい取組みをされ るのか楽しみにしています」という感想をいただいている。 | |
| 6 | 5 | 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における 禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解し ており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない ケアに取り組んでいる | (自己評価) 夜間の玄関の施錠以外は拘束しない事に、全ての職員が取 り組んでいる。日中は自由に外に出られるので、介護職員以 外のいるんな方が協力してくださっている。 | |
| | | | (外部評価) 職員は、「拘束と虐待」をテーマにして研修会を開く等、身体拘束 をしないケアに取り組んでおられる。調査訪問時、鼻歌を歌いなが ら気ままに玄関から出かけていく利用者も見受けられ、職員は行動 を制限することなく、見守りながら支援に努めておられた。一人で自 由に散歩に出かけたい利用者には、偶然を装い、職員がそれとな く声をかける等、工夫して支援されている。利用者が迷子になっ てしまった際には、地域の方が通報して下さったようなこともある。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|--|
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 全職員が自覚をもって、虐待のないように努めている。身体だけでなく、言葉も虐待につながる事を職員間で注意しあっている。 | |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価) 現在、利用者の中に、この制度の活用の該当者はおられない。平成24年4月に、権利擁護に関して、理事長より研修があり、成年後見制度などについて学んでいる。 | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 利用相談があった時は施設見学や話し合いをしてもらっている。契約の締結、解約について、納得していただけるように十分な説明をこころがけている。 | |
| 10 | 6 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 利用者、家族の意見や要望をよく聞くようにしている。個別に家族との連絡ノートで要望を伝えてくださる方もいる。家族会が随時、開催され、施設長が参加して、意見、要望を聞いている。 (外部評価) 毎月、利用者の暮らしぶりや担当職員の変更等も手紙で伝え、季刊の法人発行の「ともの家だより」では、事業報告や各事業所の取り組み、研修報告等を報告されている。日常的に来訪するご家族が多く、調査訪問時来訪したご家族に、管理者が利用者がピアノを弾いてくれることがあることを伝え、「手芸や裁縫は得意だったけれど、ピアノが弾けるとは」と少し驚いておられる様子だった。連絡ノートで詳細に情報を交換しているご家族があり、ノートの表紙には「職員さんへ いつも暖かくサポートして下さりありがとうございます」と記されていた。ご家族が世話役となって運営されている法人合同の家族会で出された意見等は、施設長が各事業所に伝えるようになってきている。毎月の掃除日には、ご家族が参加されており、昨年末の大掃除には、すべてのご家族の協力を得られた。クリスマスには、利用者のお孫さんがコンサートを催して下さり、みなで楽しい時間を過ごされた。 | 事業所では、ご家族を「ケアパートナー」として位置付けておられる。今後も、運営推進会議の参加を積極的に働きかける等、ご家族とのさらなる連携に向けて取り組みをすすめ、これからも利用者とともに支えていかれてほしい。 |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|--------------------------|------|---|--|-------------------------------|
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 毎月、職員会議、主任会議、管理者会議、研修会に代表者が参加して、職員の意見を聞いている。 | |
| | | | (外部評価) 職員は、法人内の研修・広報・地域交流・アルバム・アクティビティ委員会のいずれかに属し、意見や提案を重ねながら、それぞれが責任を持って取り組んでおられる。毎月の内部研修は、研修委員が年間計画を立てて実施されており、今回は「私のしたい介護」等をテーマに学び、法人代表者がアドバイスされた。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | (自己評価) 代表者は職員がやりがいや向上心を持って働けるように、率先して研修会や委員会などを開催し、職員の意見を聞いている。 | |
| | | | | |
| 13 | | 職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 内部研修を月1回は開催し、外部研修への参加も奨励している。新人、中堅、リーダー別の研修の機会も設けている。 | |
| | | | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | (自己評価) 近隣グループホーム交流会やサービス事業所連絡会に参加して交流や情報交換をしている。他の事業所に研修会の案内をして、相互にサービスの質の向上をさせていく取り組みをしている。 | |
| | | | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | (自己評価) 入居時にはケース検討会を開き、ご家族に参加していただき、利用者本人が安心して暮らせるように、話し合いをしている。また本人に寄り添うことで、信頼関係づくりに努めている。 | |
| | | | | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 16 | | <p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>入居前や入居時に家族と話し合いを持ち、家族などが困っていること、要望などによく耳を傾け、信頼づくりに努めている。</p> | |
| 17 | | <p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>入居開始前後に本人の事をよく知るよう努め、また、家族との話し合いで、必要としている支援を見極めるようにしている。話し合いで訪問マッサージのサービスを利用している方もいる。</p> | |
| 18 | | <p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>常に人生の先輩という尊厳の気持ちで接しながら、得意な分野での役割をさせていただいている。</p> | |
| 19 | | <p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>本人と家族の絆を大切にしながら、共に支えていくケアパートナーと位置づけている。毎月、本人の様子を文章にして、家族へ伝えたり、各行事への参加をお願いしている。受診時は原則として家族同伴としている。</p> | |
| 20 | 8 | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>本人にとって大切な馴染みの人の来訪も自由にしてもらっている。ご家族との外泊、食事会、ドライブなどされる方もおられ、馴染みの方との関係がとぎれないようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、「たとえ1時間でもご自分が暮らしていた家や、親しい人と同じ時間を過ごせたことは、利用者にとってかけがえない時間である」との思いを持って支援しておられる。利用者のかつての教え子達が頻繁に来訪されており、「みんながよく来てくれて嬉しいことだ」とご本人が話してくださいました。</p> | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|----------------------------------|------|--|--|-------------------------------|
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | (自己評価) 一緒に外出して、お茶を飲んだり、同じテーブルに誘って、話をしたり、歌をうたったりしてもらって、孤立感をもたないように支援している。また、誕生会ではお祝いの言葉や歌など、みんなで祝っている。 | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価) 退去された方のご家族にも行事案内などを送って、いつでも気軽に来ていただけるような関係を継続している。ご希望の方には「ともの家だより」(季刊)を送付し、近況報告をしている。 | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 本人または家族の思い、希望、意向を聞き、ケアプランに反映したり、アセスメントシートに記録して、スタッフ間で共有している。 | |
| | | | (外部評価) 入居時には、生活歴を始め、馴染みの店や友人、場所又、行きたい場所・好きなテレビ番組・家族に対して望んでいたこと・大切にしていたこと等、詳細なアセスメントを行って全体像を把握し、さらに1年ごとに利用者及びご家族の思いや希望をアセスメントされて、日々のケアにつなげておられる。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 本人や家族から話をうかがって、フェースシートやアセスメントシートに記録して、把握に努めている。 | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | (自己評価) 一人ひとりのその日の様子を個人記録に書き、また、スタッフ間で申し送りをして、現状把握に努めている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) | |
|------|------|---|--------|--|--|
| 26 | 10 | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | (自己評価) | 本人の担当職員が中心となって、本人や家族の意向を聞き取り、他の職員と相談して、介護計画を立てている。毎月の職員会議でも、個々の利用者の現状の話し合いをしている。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | 個別記録に日々の様子、気づきなどを記録し、職員間で情報を共有しながら、日々の実践に活かし、介護計画の見直しにも反映させている。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | (自己評価) | 本人、家族の要望に応じて自由な外出、外泊などに柔軟に対応している。訪問マッサージ、訪問理容、訪問診療を受けられたり、生け花などのクラブ活動にも参加してもらっている。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | (自己評価) | 近くの公園でくつろがれたり、近くの商店やスーパーに買い物に行かれている。必要に応じて、消防署、民生委員、小学校、中学校、ボランティアの方にも協力してもらっている。 | |
| | | | (外部評価) | | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 30 | 11 | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 各本人や家族の希望にそって、かかりつけ医を選んでもらって、訪問診療や往診、また受診をしている。医療情報は個別記録に記載している。 | |
| | | | (外部評価) 3週間に一度、協力医の往診がある。入居前からのかかりつけ医を受診される場合には、ご家族に付き添ってもらえるよう、お願いしている。訪問マッサージを受けている利用者も数名おられる。 | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | (自己評価) 通常週4日、看護職員が勤務して、健康管理をおこなっている。受診、往診の対応、薬の管理、家族や介護職員からの相談に応じている。緊急時には24時間相談できる体制をとっている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | (自己評価) 入院、退院ともに、安心してすごせるように、病院関係者や家族と情報交換や相談をしている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| 33 | 12 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | (自己評価) 利用契約時に家族、医療の協力があれば、看取りまで支援できることは伝えているが、「その時にならないとわからない」と、考えている人がほとんどである。25年2月にひとりの方の看取りを医療、家族、職員が協力してさせてもらった。 | |
| | | | (外部評価) 事業所では、「看取りに関する指針」に基づき、入院や口からの食事摂取に困難をきたす等の状態変化時に、ご家族と終末期のあり方について話し合っておられる。ご本人の傍らで、ご家族がハーモニカを吹いて、最期まで寄り添われたご家族もあった。ご家族からは「心のコもったありがたい介護をしてもらいました」「棺の中の顔は柔和でやさしい顔をしていました。その顔は、ともの家での穏やかな暮らしを表していたように思います」等の感謝の声が寄せられている。法人の看護師による「看取りについて」、協力医の「老年特有の疾病について」等の講義を受講し、職員は学びを重ねておられる。今後、利用者ご本人が望む最期の過ごし方について、お話できるような機会も持たれてはどうだろうか。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-------------------------------|------|---|---|-------------------------------|
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価) 随時、看護師による指導を受けている。また、24年10月に消防署員による救急救命講習、25年6月に看護師、7月に医師による研修があった。 | |
| 35 | 13 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価) 消防職員の指導を受けながら、消防訓練を地域の防災士、民生委員、町内会長、広報委員、家族とともに行った。 | |
| | | | (外部評価) 年に二回、施設合同の避難訓練を実施されている。地域の方は、利用者の車椅子を押す等、協力してくださった。運営推進会議時に、避難訓練の報告と反省を行った際、地域の方から「事業所の見取り図は、入り口に貼る方が外部からの援助には良いと思う」というアドバイスを受け、玄関に貼るようになされた。又、地域包括支援センターの方から「地域の応援団のネットワークも大事」との意見もあった。2月の避難訓練は、運営推進会議時に地震想定で実施する予定となっている。 | |
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | (自己評価) ともの家の運営理念、基本方針を全職員が共有して、職員はそれに基づき、一人ひとりの思いを尊重した支援をおこなっている。全職員が職員ハンドブックを持ち、介護の基本姿勢、接遇態度などを随時、見直している。 | |
| | | | (外部評価) 職員は、「人権と人格を尊重する」「プライバシーの尊重」「自己決定の尊重」「羞恥心の尊重」「笑顔と挨拶」等を介護の基本姿勢として、利用者一人ひとりの人柄、これまで歩いて来られた人生等を考慮しながら、言葉かけや対応に努めておられる。調査訪問時、穏やかでいていねいな言葉遣いを心がけておられた。「利用者の声にならない声を汲み取れるよう努め、一日の終わりには、今日一日ありがとうございましたと感謝の気持ちを伝えて、利用者といさづを交わすことが日課となっている」と、職員は話しておられた。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | (自己評価) 常に利用者の意向を第一として、自己決定ができるように配慮している。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) その日の勤務者が一人ひとりのペースに添えるように、個別性を大切にしている。また、その日の状況、その時の思いで柔軟な支援をしている。 | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | (自己評価) できるだけ、その日に着る洋服などを選んでもらっている。だらしないにならないように整容にも気をつけている。 | |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 利用者と職員が同じ料理を同じ場で食べている。利用者の状態に合わせて、刻んだり、ミキサーにかけたりしている。騒音にならない程度に音楽をかけ、会話を食事の邪魔にならない程度でしている。低い椅子やテーブル、足置きを個々の利用者に合わせ、食べやすいようにしている。 | |
| | | | (外部評価) 昼食と夕食の主菜は法人の厨房で調理されたものが届き、ご飯と汁物及び朝食は事業所で作っておられる。又、日曜日の朝、昼、夕食は、事業所で調理するようになっており、ちらし寿司等、利用者の希望の献立に沿うようにされている。利用者の中には、日本酒をたしなむ方もおられる。調査訪問時には、心地よい音楽が流れる中、ご家族も食卓を囲み、和やかな食事風景がうかがえた。職員も利用者と同じ物を食べながら、さりげないサポートに努めておられた。昼食を事業所で食べるようにしている施設長が「お茶が冷めましたが、入れ直しましょうか。お汁も温め直しましょうか」等と声かけされていた。利用者は、メリハリのある味付けを好まれる方が多く、食がすすむよう工夫されている。誕生日には、ご本人の好物の果物等も用意してお祝いされている。利用者によっては、野菜切りや食器洗い、下膳等もできるよう支援されている。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 健康チェック表や水分チェック表にその日に記録をして、全職員が意識して、支援している。水分がとりにくい方には果物やヨーグルトなどを提供したり、食事摂取状態の良くない時には、栄養補助食品を随時補っている。 | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | (自己評価) 食後の歯磨きの支援、また、歯磨きが出来ない方にはガーゼで拭き取りの口腔ケアをしている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | <p>(自己評価)</p> <p>トイレ誘導表に記録して、全職員が排泄パターンを把握するようにしている。日中はできるだけ布パンツにして、トイレ誘導の支援をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>日中は、「安心だから」というご本人の希望で紙パンツを着用しているお一人の利用者以外は、全員の方が布パンツとパッドで、トイレで排泄できるよう支援されている。トイレには、「厠(かわや)」「トイレ」と表示されている。</p> | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | <p>(自己評価)</p> <p>水分や繊維食品の摂取に注意して、できるだけ自然排便に努めている。歩行、体操などの運動も心がけている。</p> | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | <p>(自己評価)</p> <p>入浴のお誘いは3日に1回ぐらいのペースでしているが、本人の希望に添うようにしている。時間帯は午後が多いが、希望によって、午前や夜間にも入浴してもらっている。重度の利用者も機械浴でなく、職員二人介助で湯船で温めてもらうようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご自分で入浴できる利用者には、回数や時間帯等、いつでも自由に入浴できるよう支援されている。車椅子を使用している利用者も、職員が二人で介助されて、湯船に浸かれるよう支援されている。入浴を拒みがちな利用者をお連れしたところ、他の入浴客とも楽しそうに話され、殊の外喜ばれたようだ。浴室には、湯のれんが掛けられている。</p> | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | <p>(自己評価)</p> <p>外気浴や運動などをできるだけとりいれ、日中気分をリフレッシュしてもらって、夜間に安眠できるようにしている。</p> | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|--|
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 個人の薬袋に処方されている薬名、用法、用量が記入されている。服薬時には、緊張感をもって服薬してもらっている | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | (自己評価) 一人ひとりの出来る事、出来ない事を把握して、役割発揮をしていただいている。手芸、壁飾り作り、食器拭き、洗濯物干し、窓拭き、野菜収穫などその都度してくださっている。楽器演奏、買い物や散歩、生け花などにも参加されている。 | |
| 49 | 18 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価) 利用者の重度化に伴い、遠出や長時間の外出は困難になってきているが、日常的に事業所の庭で外気浴したり、近所の散歩をしている。家族の協力で遠くにドライブに行ったり、外食をされたり、他の事業所との合同企画で温泉や遠くの公園へ出かけてもらっている。 | |
| | | | (外部評価) 法人合同での外出では、ご家族もお誘いして、季節ごとにイチゴ狩りや吉海町のバラ園、西条のアサヒビール工場、久万高原ふるさと村等に出かけておられる。ご家族と一緒に、外食したり、道後公園や護国神社等に出かける利用者もおられる。重度の利用者には、散歩や日向ぼっこができるよう支援されている。 | 職員は、「遠慮しがちで、外出したいという思いを主張なされない控えめな利用者にもっと日常的に買い物等、外にお連れする機会を増やしたい」「地域の行事にも出かけて、地域の人と触れ合う時間があれば」と話しておられた。今後さらに、利用者一人ひとりの希望や思いに寄り添い、利用者の生活が広がるよう、支援に工夫を重ねていかれてほしい。 |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) 現在、ひとりのかたがお金を所持して、自由に買い物に行かれたりしている。管理はご家族がされている。 | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) ご家族が携帯電話を用意してくださり、かけたい時には援助させていただき、ご家族に連絡されている。遠方のご家族と手紙のやり取りをされている方もいる。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 52 | 19 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 季節ごとの壁飾りや花でその時の季節を感じてもらっている。また、利用者にとって懐かしい家具などを置いている。リビングのまきストーブはやわらかくて温かい空間をつくっている。音が不快にならないように、スリッパをやめている。 | |
| | | | (外部評価) 玄関前の満開の山茶花の垣根と2匹の犬が、来訪者を迎えてくれる。玄関には水仙の花が、卓上には利用者がお花クラブで生けた季節の花が飾られていた。設えに木のぬくもりを感じさせる居間には、蒔きストーブが燃えており、ほっこりとした癒しの空間となっている。テーブルが3箇所に配され、調査訪問時には、ソファーに三人の利用者がひざ掛けをして腰を下ろし、談笑されていた。時には、利用者がピアノを弾かれることもある。居間からは、裏山に突っ立っているみかんが眺められる。利用者によっては、足こぎ車椅子に乗って、廊下やリビングを行ったり来たりしてリハビリに励んでおられる。1日に5回の換気、夜には次亜塩素酸ナトリウム液で吹き掃除を行い、感染症の予防に努めておられる。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) リビングの各所にコーナーを設け、独りになれる所、気の合う人と過ごせる所など、居心地よくできるようにしている。 | |
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 家族の協力により、本人が居心地よく過ごせるように、机、椅子、仏壇、鏡台など置いている。また、家族との写真や思い出の写真も飾っている。 | |
| | | | (外部評価) 居室には、使い慣れたドレッサーやたんす、書籍、囲碁盤等が持ち込まれていた。若かりし頃の写真や天皇陛下のお写真等も飾っておられた。自作の短歌を色紙にしたためて、壁一面に貼っておられる方もあり、ご自身のこれまで詠まれた短歌が、ご家族の手によって歌集に編まれ、本棚に収められていた。面会に来られたご家族が、居室にお花を生けたり、布団乾燥機を使用する方もいる。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) トイレや浴室などにはプレートやのれんを掛けてわかりやすくしている。各居室には個々の表札を掛けている。 | |